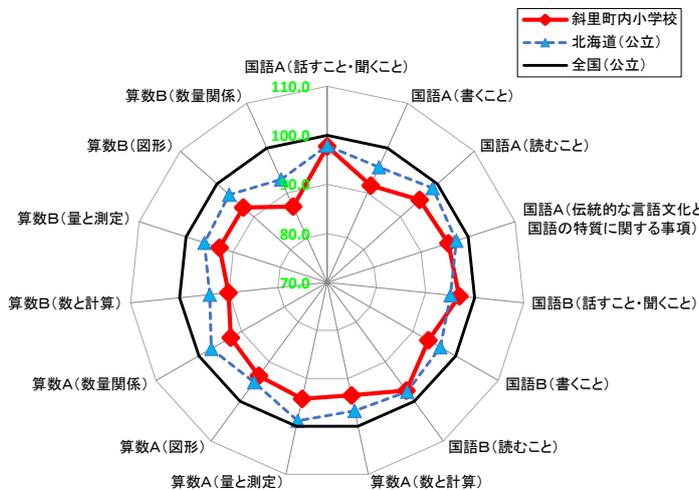


■斜里町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3、児童数:93名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



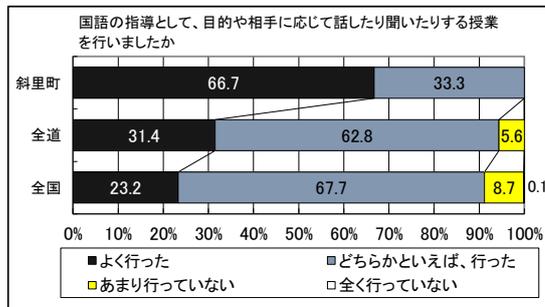
【全国の低位25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合】

	国語A	国語B	算数A	算数B
斜里町	21.6	32.3	32.5	25.9
全国との差	0.3	2.5	8.3	5.9

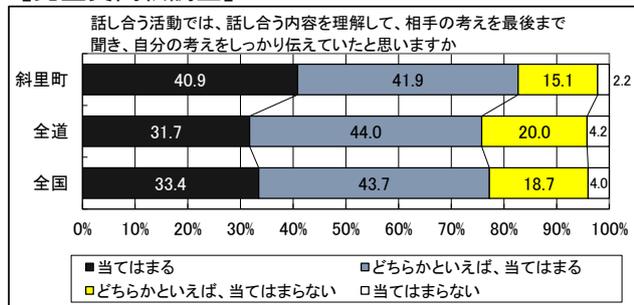
【斜里町の平均正答率】

	国語A	国語B	算数A	算数B
斜里町	69.4	54.9	72.7	42.7
全国との差	-3.5	-2.9	-4.9	-4.5
全道との差	-1.6	-1.1	-2.6	-1.8

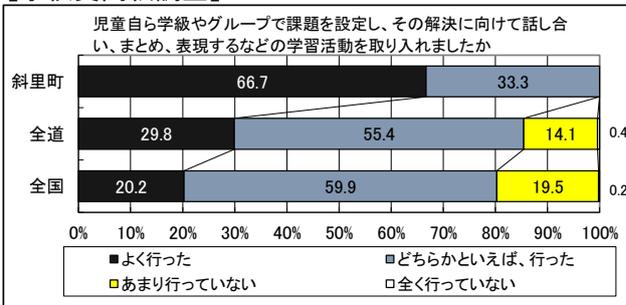
【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

項目	分析内容
教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは、「話すこと・聞くこと」で、全道を上回っており、Aでは、「話すこと・聞くこと」、Bでは、「読むこと」で、全道とほぼ同様になっている。 ○ 算数Aでは、「図形」で、全道とほぼ同様になっている。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた」と回答をした児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」「児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」と回答をした学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全国及び全道との比較で、下位層の割合が多く、平均正答率が下回っていることから、学校全体で正答数の少ない児童に対する放課後等を活用した学習サポートの充実や調査結果を活用した授業改善、家庭学習の充実の取組が課題である。 ○ 各学校が目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を積極的に行ったことにより、児童は目的意識や相手意識をもちながら話し合う活動に取り組むようになり、国語における話す・聞く能力の向上につながったと考えられる。

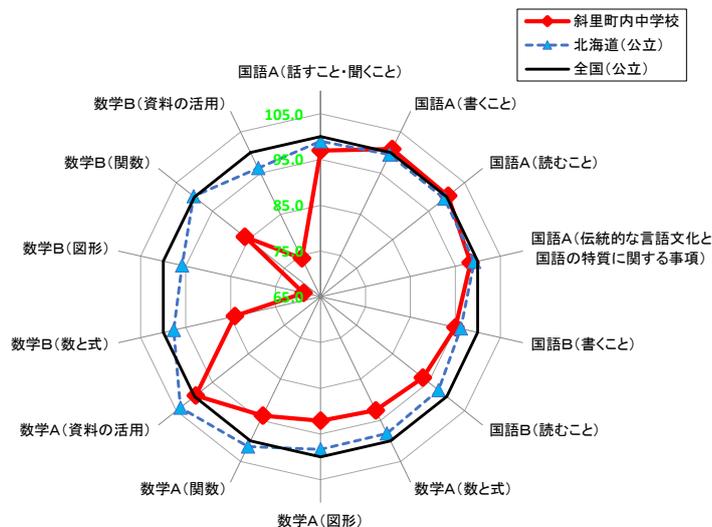
【斜里町の学力向上策】

- ◎ 義務教育学校による小中一貫教育及び中学校を軸とした小中連携教育の充実
- ◎ 学校力向上事業として、特色ある学校づくりを支援する校長提案型事業の町内全校での実施
- ◎ 教育活動支援講師の配置と放課後や長期休業中の学び直しの機会の提供等、きめ細かな学習環境の整備
- ◎ 教育課程検討委員会による学力向上に向けた調査研究等の取組の推進

■斜里町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:71名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



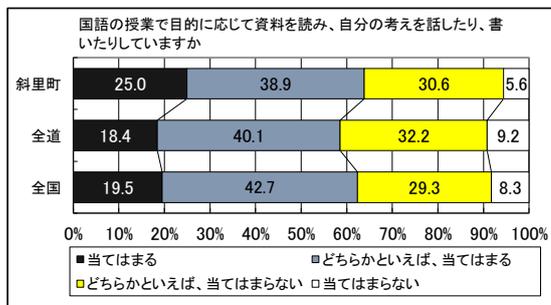
【全国の低位25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合】

	国語A	国語B	数学A	数学B
斜里町	25.2	32.4	33.6	37.6
全国との差	-1.3	7.0	8.5	16.3

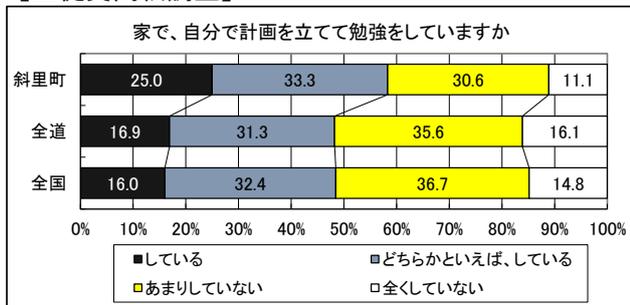
【斜里町の平均正答率】

	国語A	国語B	数学A	数学B
斜里町	74.7	62.1	58.0	36.1
全国との差	-0.9	-4.4	-4.2	-8.0
全道との差	-0.4	-2.9	-3.8	-7.2

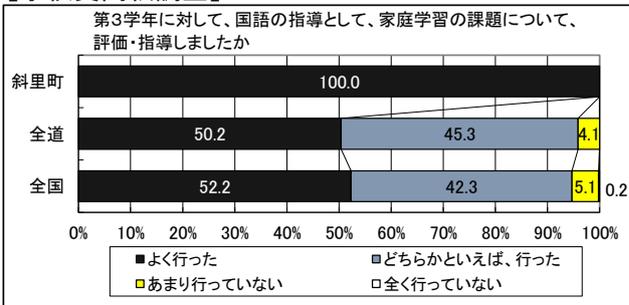
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」「読むこと」で、全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」で、全国とほぼ同様となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国及び全道との比較で、国語Aを除き低位層の割合が多く、平均正答率が下回っていることから、学校全体で正答数の少ない生徒に対する放課後等を活用した学習サポートの充実や調査結果を活用した授業改善に取り組む必要がある。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強している」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校が、国語の指導として、生徒の家庭学習の課題について、評価・指導したことにより、生徒は主体的に計画を立てて家庭学習に取り組むようになり、家庭における学習習慣の定着につながっていると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が「第3学年に対して、国語の指導として、家庭学習の課題について、指導・評価をよく行った」と回答している。 	

【斜里町の学力向上策】

- ◎ 義務教育学校による小中一貫教育及び中学校を軸とした小中連携教育の充実
- ◎ 学校力向上事業として、特色ある学校づくりを支援する校長提案型事業の町内全校での実施
- ◎ 教育活動支援講師の配置と放課後や長期休業中の学び直しの機会の提供等、きめ細かな学習環境の整備
- ◎ 教育課程検討委員会による学力向上に向けた調査研究等の取組の推進